



No.81 何のために戦う



(EPA時事 2022.2.27)

2月24日に始まったロシア軍のウクライナ侵攻は、3月7日現在、終わりが見えません。ロシアは軍事作戦により目的を完遂すると言っています。ウクライナが無条件降伏すれば武力行使を止めるでしょう。しかしウクライナ国民は抵抗を続けロシアの支配を拒絶するでしょう。

民主主義対専制主義の世界大戦の始まりかもしれません。SFにしか登場しなかった核戦争に直面して、世界は足をすくませている感じさえします。その時日本はどうするか。

枢軸国日本は連合国に敗北して無条件降伏しました。アメリカが心配したゲリラ戦もなく、日本は従順にその支配に服しました。その結果民主主義国家として経済発展し生活は豊かになった、これが日本国民の原体験です。相手の言うことを聞けば悲惨な戦闘は避けることができる。核戦争も防げる。平和を求めらば無条件降伏するべし・・・??

家族を守るため戦う！とウクライナの戦士は言うでしょう。それなら、ロシアの言うことを聞けば家族は平和に暮らせる、とロシアは言うでしょう。いや専制主義には服従しない！民主主義を守る！そのために戦う！！



谷口博文の政策イノベーション

Date :2022年3月8日

日本は民主主義を勝ち取るために戦ったわけではなく、逆に負けた相手から労せずを受け取りました。

その価値を守るために血を流したことはありません。しかし..

Freedom is not free.

香港でもミャンマーでも、それを獲得しようとしてどれだけの人が犠牲を払っていることか。日本は民主主義陣営だと言って誰も疑問に思いませんが、本気でそれを守る覚悟があるかが問われるのは、敵の脅威や核の脅しが現実化して自分の命がかかっている時です。戦争を経済合理性や陰謀説で説明してみせる解説が横行していますが、現場で血を流す人とは関係ありません。

本当に怖いのは専制主義がもたらす平時の非民主的政治です。

そのとき、自分は専制主義に屈しない、そのために命を賭けて戦う、と日本人は立ち上がるか..